

各 位

会 社 名 不二精機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 伊井 剛
 (JASDAQ コード番号 6400)
 問合せ先 取締役管理本部長 山本幸司
 (TEL. 06 - 4306 - 6822)

特別損益の発生及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社および連結子会社において、特別損益を計上することなどで、平成 21 年 12 月期通期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の業績予想について、平成 21 年 2 月 20 日付「平成 20 年 12 月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損益の発生

(1) 特別利益について

固定資産の売却に伴い、固定資産売却益 46 百万円及びレバレッジドリース投資収益として、匿名組合投資利益 1 億 29 百万円を特別利益に計上いたします。

(2) 特別損失について

新型ディスクケースであるスーパージュエルボックス製品事業の撤退に伴い、事業撤退損 60 百万円及び固定資産売却損 57 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 通期（連結）業績予想の修正(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|----------------------|--------|---------|---------|-----------|
| 前回発表予想 (A) | 6,668 | 81 | △54 | 77 |
| 今回修正予想 (B) | 5,436 | 181 | 76 | 74 |
| 増 減 額 (B-A) | △1,232 | 100 | 130 | △3 |
| 増 減 率 (%) | △18.5 | 123.5 | — | △3.9 |
| ご参考 | | | | |
| 前期実績 (平成 20 年 12 月期) | 8,459 | 31 | △446 | △482 |

<修正理由および為替差損の発生>

売上高については、精密金型セグメントにおいて、顧客における金型関連設備の需要が急減したこと及び精密成形品セグメントにおいて、ディスクケース及び光学機器関連成形品の需要減などにより、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益については、上記の売上高減少の影響はあったものの、固定費の削減及び外注加工費をはじめとした製造原価低減活動ならびに販売管理費削減活動を徹底的に進めたことなどにより、前回予想を上回る見込みであります。

経常利益については、支払利息が減少したことなどにより、前回予想を上回る見込みであります。

当期純利益については、事業撤退損を特別損失に計上することなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

3. 通期（個別）業績予想の修正(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|-------|------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 4,210 | 51 | △62 | 73 |
| 今回修正予想 (B) | 3,735 | 168 | 99 | 31 |
| 増減額 (B-A) | △475 | 117 | 161 | △42 |
| 増減率 (%) | △11.3 | 229.4 | — | △57.5 |
| ご参考 前期実績 (平成 20 年 12 月期) | 5,750 | 16 | △542 | △697 |

<修正理由および為替差損の発生>

売上高については、精密金型セグメントにおいて、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益については、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を上回る見込みであります。

経常利益については、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を上回る見込みであります。

当期純利益については、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を下回る見込みであります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化などにより、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上